



練馬中学校だより 第 11 号

若き我ら

校歌より 森田 健 氏作詞

平成 25 年 12 月 25 日

練馬区立練馬中学校
練馬区高松 1-24-1
tel: 03 (3990) 5451
url: www.nerima-j.nerima-ty.ed.jp



被害者にも加害者にもならない！ ネット ケータイの賢い使い方

— 27 億人の人とつながるネット社会 —

インターネットに接続することは、27 億人のネット社会に自分一人が入ることです。27 億人の人のうち何人の人を知っていますか？ほとんど知らない人が存在するネット社会です。残念ながら善意の人ばかりではありません。ネット社会を生き抜くためには、被害者にならない使い方と加害者にならない使い方があります。だからこそ、正しい使い方を知り、実行することです。

ネット ケータイで「誤って」やってしまったことは、ネット社会での被害者になったり、加害者になったりする可能性があります。最近手軽なラインも友達とだけつながっている、家族とつながっているだけと思っていますが、設定の仕方によっては、27 億人とつながります。そのことを意識して、細心の注意をして使うことです。

— 社会的責任の発生 —

日本には、日本のルールがあると同時にネット社会にもネット社会のルールがあります。たんに楽しい、おもしろい、便利だけで使っているわけではありません。インターネットに接続することは、自分の意志でネット社会に入ることです。だから、ネットの中で起こることは、自分で責任をとらなくてはなりません。「法律、使用上のルール、使用上のマナー」を分かった上で使うことが求められています。

「知らなかった。そんなつもりは、なかった」は通用するはずもなく、許されません。やることが間違っていることならば、責任をとらなくてはなりません。それが、社会的責任です。中学生だから、未成年だからと許されることや、免除されることはありません。

— ネット社会を賢く生き抜くための使い方 —

「被害者にも加害者にもならない！」ことが、「ネット ケータイの賢い使い方」です。しかし、意識せずに加害者になっているケース、そんなつ

もりはなくとも犯罪者になっているケースがあります。使い方は使う人の責任です。

— ネットでのコミュニケーションは難しい —

コミュニケーションとは、「こちらの思い通りに受け取られ理解されるよう情報や思考や感情を伝達すること」です。自分の思っているとおりに相手に伝え、相手は自分の思っているとおりに受け取ってくれて、初めてコミュニケーションは成り立ちます。直接話していても、時にコミュニケーションのギャップを感じます。ネット上のコミュニケーションはさらに難しいとの自覚が大切です。使うか使わないかのタイミングと内容を考えることで、トラブルを防ぐことができます。

面と向かって相手とコミュニケーションをとる大切さと難しさを理解した上で、使いこなしてください。

— 個人情報管理 —

自分の情報をネットに載せることは、自分の住む町の電信柱に自分の写真と自分のこと（プロフィール：住所、学校、学年など）について書いた紙を貼るということです。

— 未来への影響 —

新卒採用活動及び中途採用活動をする企業を対象に調査すると、50%以上の企業が、応募者のソーシャルメディアをチェックしています。そのうち1割の企業が、チェックの結果、不採用にした経験もあることが判明しました。

— ネット ケータイの賢い使い方 —

- ① 世界最大の都市での社会的責任を自覚しよう
- ② 困った時には、迷わず！ 恥ずかしがらず！
すぐに大人に相談しよう！

心の東京革命事業

ファミリールール「出前講演会」より